

- ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- 工事店様へ：工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

■取付前に必ずご確認ください

警告

- 事故や故障の原因になりますので、むやみな改造や仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・故障・変形したままでの使用はしないでください。
- ポスト本体に重いものを載せたり、寄りかかったり、ぶら下がらないでください。事故や故障の原因になります。
- 子供をポスト及び周囲で遊ばせないでください。ケガや事故の原因となります。
- 故障の原因となりますので、ポスト本体へ強い衝撃を与えないでください。
- 火災や故障の原因となりますので、火気を近づけないでください。

注意

- 強風雨の時は内部に水が入るときがありますので、はやめにおふきとりください。
- 直射日光で本体が高温になることがありますので、ご注意ください。
- ポストは郵便物を入れるものですので他の目的には使用しないでください。
- 取り出し口は完全に開いてから郵便物を取り出してください。
- 取り出し後、扉を必ず閉めてください。その時手をはさまないよう注意してください。
- 投入口に郵便物等が挟まっていると雨等が入る原因となりますのでご注意ください。
- 商品は防雨型ですが、完全防水ではないため、激しい雨の日は出来るだけ早めに郵便物を取り入れていただくようお願いします。
- 本商品は防サビ処理を施してはありますが経年によるサビの発生が見受けられる場合がございますので、ご了承の程宜しくお願い致します。
- ポストを壁に埋め込む施工は不可です。

■取付方法

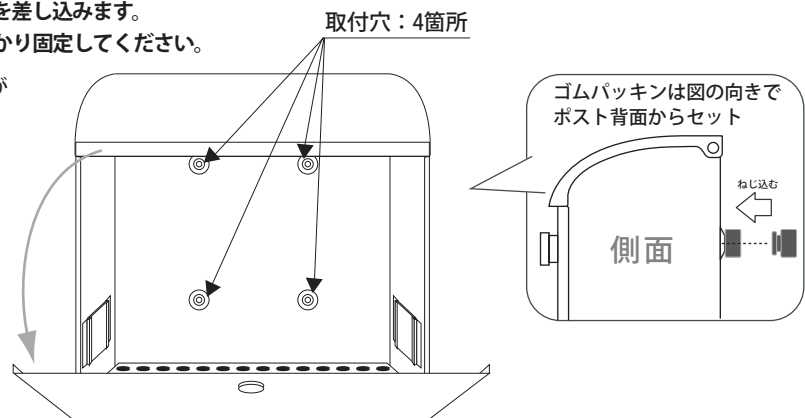
1. 壁面にポスト本体をあてがい、背面の取付穴に下穴用の印を入れます。
2. 付属のゴムパッキンをポスト背面にセットします。
3. 振動ドリル等で直径6mmの下穴を開け、カールプラグを差し込みます。
4. ポスト扉内側より、付属のビス4本でポスト本体をしっかりと固定してください。

※ビス固定の際は必ずドライバー等で手締めで行いゴムパッキンが変形して潰れない程度にネジを固定してください。

※短めのドライバーでの作業を推奨いたします。
(柄が長いドライバーでは作業がしにくい場合があります)

注意

- 取付作業時は誤ってポストを落下させたり、壁面や床を傷つけることがない様、ご注意ください。
- 取付作業時はポスト開口部に指を挟むなどケガをしない様、ご注意ください。



■ダイヤル錠の操作方法について

裏面の説明事項をご参照ください。

■お手入れ方法 (長くご利用いただくためにお手入れをお願いいたします)

- 普段のお手入れは、湿らした布でお拭きください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- シンナー等のご使用は、絶対にお止めください。
- キズ等で塗装面が剥がれた場合は、補修ペイントでタッチアップしてください。(補修ペイントは、市販品となります。)
- ※ 万全を施しておりますが、万一サビが発生した場合はなるべく早めに補修ペイントでタッチアップしてください。

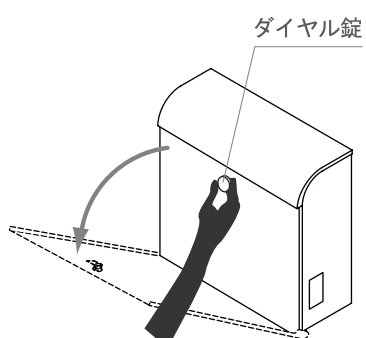
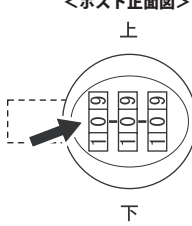
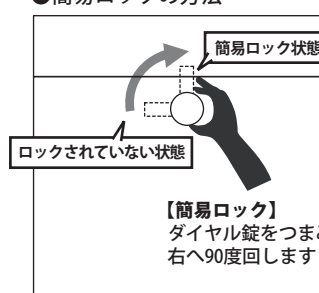


注意

本品には防サビ処理をした金属が用いられておりますが塩害(潮風に含まれる塩分による被害)・酸性雨・排気ガス・新築完成後の洗浄剤その他の要因によりまれに「もらい錆」が発生する場合があります。特に台風の後には内陸部でも塩害による「もらい錆」が発生しやすくなりますので、天候回復次第、速やかにお手入れしてください。


お問い合わせ・ご意見は下記へご連絡ください。

⚠️ まずはじめにご確認ください

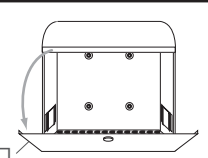
各部操作方法について

取出し口の開閉方法	簡易ロック、ダイヤル錠ロックの方法	
<p>ダイヤル錠をつまみ、手前に引くと取出し口が開きます。</p>  <p>ダイヤル錠</p> <p>※「簡易ロック状態」や「ダイヤルロック状態」(右図)では開きません。</p> <p>※取出し口は閉じた時に磁石により仮固定されますが、不意に開かないよう、ダイヤル錠を回して内部の鍵をかけておいてください。(右図参照)</p>	<p>ロックされていない状態 → 簡易ロック状態 → ダイヤルロック状態</p> <p>※カギ部(内部)が下がっているため取出し口が開きます。出荷時の暗証番号は初期設定「000」になっています。</p> <p><ポスト正面図></p> <p>上</p>  <p>下</p> <p>●簡易ロックの方法</p>  <p>【簡易ロック】ダイヤル錠をつまみ右へ90度回します</p>	<p>※カギ部(内部)が上がっているため取出し口は開きません。ただしこの状態ではダイヤル錠は回転し誰でも取出し口を開けることができます。</p> <p>※ダイヤルの数字が暗証番号以外になっていてダイヤル錠自体がロックされ回転しない状態です。暗証番号を知らない人は開けることができません。</p> <p>上</p>  <p>下</p> <p>●ダイヤルロックの方法</p>  <p>※簡易ロック状態でダイヤルの数字を暗証番号以外(初期設定時では「000」以外)の位置にずらす。</p>

ダイヤル錠の設定方法について



下記、暗証番号の設定は必ず取出し口を全開にした状態で行ってください



取出し口

①取出し口を開けたまま、簡易ロック状態にします。

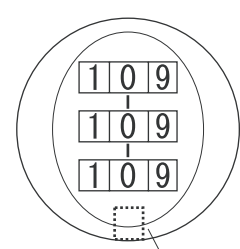
ダイヤルを現在の解錠番号にセットします(初期設定の場合:「000」に合わせる)

※一度設定した暗証番号から別の番号に変えたい場合は、現在設定している番号にセットします

ダイヤル錠の向きは下図の状態にしてください(ロックされていない状態)

<ポスト正面図>

上



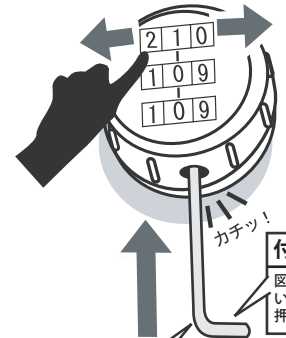
下

穴(リセットボタン)
※正面からみて下面

②付属のL型棒(下図参照)で穴(リセットボタン)を奥まで強くまっすぐに押し続けた状態でダイヤルを回し、新しい暗証番号にセットした後、リセットボタンを離します。

※リセットボタンを離した時点での番号が新しい暗証番号として設定されます。そのため設定中は絶対にリセットボタンを強く押し込み続けてください

※下記では例として「100」に設定しています。



付属のL型棒

図では柄の長い方を差し込んでいますが短い方も可能です。押しやすい方をお選びください。

強くまっすぐに奥まで押し込み続けた状態でダイヤルを回す

リセットボタンを正しく押せているか確認する場合、ダイヤル錠に耳を近づけながらリセットボタンを試し押しすると、「カチッ」という小さな音が聞こえ、軽く押した感触があります。

③設定完了です。新しい番号でしかダイヤル錠が回転しなくなります。

●設定が完了したら

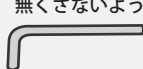
①暗証番号を控える

※暗証番号を忘れてしまった際は解錠できなくなりますので、下記にメモを取るなどして大切に保管してください

↑こちらに暗証番号を記入し、本紙ごと保管ください

②付属のL型棒を保管する

※暗証番号を変更する際に必要となります。無くさないように大切に保管ください。



⚠️ 暗証番号について

暗証番号は何度でも変更可能ですが、現在の暗証番号を忘れた場合は「穴(リセットボタン)」が押せず暗証番号の変更が出来ませんので十分にご注意ください。なお、変更の際は再度①から同じ手順で設定してください。

裏面もご参照ください。